

京都第一赤十字病院で術後再建腸管症例における
内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)検査歴のある患者様・ご家族様の皆様へ

術後再建腸管症例における内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)の 有効性と安全性に関する後ろ向き検討調査へのご協力のお願い

今回、京都第一赤十字病院は、術後再建腸管症例における ERCP の有効性と安全性に関する後ろ向き検討を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で術後再建腸管症例における ERCP を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

術後再建腸管の ERCP は難易度が高く、様々な器具の進歩はありますが手技完遂率等に課題が残ります。本研究では当院における治療の効果を検証すること、また問題点があればそれを明らかにすることを目的としています。また改善すべき問題点があれば、今後の治療法に役立つことが期待されます。

研究の方法

対象となる方について

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに京都第一赤十字病院において術後再建腸管症例における ERCP を受けた患者様が対象となります。

研究期間:倫理審査委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日

方法

本研究は、過去に当院において術後再建腸管症例における ERCP 検査を受けた患者様の診療記録から病歴、検査結果、治療経過、有害事象などを抽出し、後ろ向きに検討する観察研究です。下記のような項目を検討します。

- ① 患者基本情報:性別、年齢、併存疾患、内服歴、血液検査所見、画像所見など。
- ② 有効性として、乳頭到達率/時間、未処置乳頭胆管膵管挿管率/時間、全生存期間など。
- ③ 治療に伴う有害事象。

研究に用いる試料・情報について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される

場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2027 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。研究に参加しない場合でも不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記の本研究実施担当者までご連絡をお願いします。

本研究は、当院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

研究組織

本研究責任者

京都第一赤十字病院

第一消化器内科部長 佐藤秀樹

お問い合わせ先

京都第一赤十字病院

第一消化器内科医長 吉田寿一郎

電話：075-561-1121（代表）